

宮古港海岸鎌ヶ崎地区の津波対策事業に着手！！

河川課

宮古港海岸鎌ヶ崎地区は、明治29年の明治三陸地震津波や、昭和8年の昭和三陸地震津波等の被害を受けている地区ですが、古くから漁業や物流の中心地であったため、水産加工所や住宅などが密集しており、防潮堤建設の余裕地が少なく、また生活環境や景観等に大きな影響を与えることが心配されたことなどから、これまで防潮堤等の整備が行われてこなかった地区です。

しかし、近い将来、宮城県沖を震源とする地震の発生が高い確率で予測されており、市民の災害に対する危機感や防災意識、津波対策施設の整備に関する要望の高まりを踏まえて、平成21年度から事業に着手することとしました。

早期に住民の皆様の安全・安心を確保できるように、事業を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

<平面図>



鎌ヶ崎地区 (全景)

